

みやざき

ほん びより 「本」日和

私たちの郷土“宮崎”に縁がある図書館資料をご紹介します。

特集 Special feature

中央文壇で活躍し、「北の太宰、南の地平」と謳うたわれた中村地平。映画鑑賞の前に、作品に触れてみませんか？

宮崎市出身小説家

なかむら ちへい
中村 地平

『中村地平小説集』

中村地平／著
興梠英樹／編集・解説
鈺脈社 1997
2階郷土コーナー F／ナカ



「南方文学」の神髄が味わえる。
まず読むならこれ！

宮崎を舞台としたものを中心に、12編の小説を収録。
芥川賞候補となった「土竜どんもぽっくり」「南方郵信」「八年間」の三作品も収められ、解説も詳しい。

地平さんが子どもたちに贈った 宮崎の民話集！

表題作のほか「椎葉ものがたり」「鬼八伝説」「炭焼小五郎」など12編を収録。

さし絵や装丁は郷土の画家、塩月桃甫しおつきとう ぽによるもので、こちらも必見！
—第15回 宮日出版文化賞受賞作—

『河童の遠征』



中村地平／著
鈺脈社 2004
2階郷土コーナー 388.1／ナ

『日向』

中村地平／著
鈺脈社 1996
書庫郷土 291.9／ナ



“日向”とは？

全国に紹介された宮崎風土記！

「宮崎の町と日向人」、「伊東満所まんしよ」から「ひえつき節」、「椎茸」まで！？
愛情あふれるまなざしと、客観的かつ学問的な姿勢で故郷の本質を見つめた“日向讃歌”。

他多数 and more...

みやざき

ほん びより 「本」日和

私たちの郷土“宮崎”に縁がある図書館資料をご紹介します。

特集 Special feature

中央文壇で活躍し、「北の太宰、南の地平」と謳^{うた}われた中村地平。映画鑑賞の前に、作品に触れてみませんか？

宮崎市出身小説家

なかむら ちへい
中村 地平

『中村地平小説集』

中村地平／著
興梠英樹／編集・解説
鈺脈社 1997
2階郷土コーナー F／ナカ



「南方文学」の神髄が味わえる。
まず読むならこれ！

宮崎を舞台としたものを中心に、
12編の小説を収録。
芥川賞候補となった「土竜どんも
ぽっくり」「南方郵信」「八年間」の三
作品も収められ、解説も詳しい。

地平さんが子どもたちに贈った 宮崎の民話集！

表題作のほか「椎葉ものがたり」
「鬼八伝説」「炭焼小五郎」など12編を
収録。

さし絵や装丁は郷土の画家、塩月桃甫^{しおつきとう ぽ}
によるもので、こちらも必見！
—第15回 宮日出版文化賞受賞作—

『河童の遠征』



中村地平／著
鈺脈社 2004
2階郷土コーナー 388.1／ナ

『日向』



中村地平／著
鈺脈社 1996
書庫郷土 291.9／ナ

“日向”とは？

全国で紹介された宮崎風土記！

「宮崎の町と日向人」、「伊東満所^{まんしよ}」から
「ひえつき節」、「椎茸」まで！？
愛情あふれるまなざしと、客観的かつ
学問的な姿勢で故郷の本質を見つめた
“日向讃歌”。

他多数 and more...

中村地平 ～なかむらちへい～

- 1908年(明治41年) 現宮崎市淀川町に生まれる。
- 1930年(昭和5年) 3月 台湾総督府立台北高等学校を卒業。
4月 東京帝国大学文学部美術史科に入学。入学試験の会場で、太宰治と知り合う。
- 1932年(昭和7年) 「熱帯柳の種子」を、文芸誌『作品』に発表。井伏鱒二に師事し太宰治、小山祐土とともに、井伏門下の3羽ガラスと称される。
- 1934年(昭和9年) 都新聞社(現東京新聞)入社。
- 1937年(昭和12年) 「土竜どんもぼっくり」が芥川賞候補となる。
- 1938年(昭和13年) 「南方郵信」を『文学界』に発表。二回目の芥川賞候補となる。
- 1945年(昭和20年) 日向日日新聞社(現宮崎日日新聞社)入社。
- 1946年(昭和21年) 西部図書株式会社の設立に参画。
- 1947年(昭和22年) 宮崎県立図書館長となる。
- 1950年(昭和25年) 「八年間」が、三回目の芥川賞候補となる。第1回宮崎県文化賞受賞。
- 1953年(昭和28年) 第12回西日本文化賞受賞。
- 1957年(昭和32年) 宮崎相互銀行(現宮崎太陽銀行)に取締役として入社。
- 1963年(昭和38年) 心臓麻痺のため自宅にて死去。



宮崎市立図書館

『中村地平 ドキュメンタリー映画上映会』

こまつたかひで
監督小松孝英 氏

- 日時:9月29日(日)
 - 第1回上映 10:00～ 小松孝英監督挨拶
 - 第2回上映 14:00～ 小松孝英監督挨拶
- 定員:100名
- ※ 8/1(木)～申込み受付開始。詳細は、館内ポスター、または、チラシをご確認ください。

